

研究計画書

ゼミ名	岡田ゼミⅡ	チーム名	神戸花伝
タイトル	神戸の国際教育		
テーマ群	d)国際経済 f)歴史と思想		
メンバー			
研究計画内容	<p>[研究背景]</p> <p>神戸の外国人登録者数は令和 2 年 2 月時点で約 5 万人である。神戸の人口が約 152 万人である中、全体の約 3%を外国人が占めており、これは全国的にみても、高い割合である。しかし、文部科学省による全国の中高生の英語力を測る『英語教育実施状況調査』によると、神戸市の結果は目標値 50%に対してわずか 30%に留まっている。これはトップのさいたま市の結果 75.5%と 45%の差である。この結果から、国際都市である神戸市の英語力が低下していることが分かった。なぜ神戸市の国際教育は実を結ばないのか、その原因を考察する。さらに、神戸市内に在住する外国人移住者たちを対象とした日本語教育も、国際教育のなかで欠かせない要素の一つである。</p> <p>[研究内容]</p> <p>私たちは大きく分けて神戸に住む日本人に対しての外国語教育と、神戸に在住する外国人移住者に対する日本語教育について調査した。神戸は、グローバル人材の育成をモットーにして、様々な国際教育の取り組みを行っている。その実例としては、中高に配属される『ALT』という外国人指導助手の導入や、中高への『コミュニケーション英語 1』の共通必修履修などが挙げられる。さらに、日本語教育の面では兵庫県内のインターナショナルスクール 12 校のうち、8 校が神戸市内にあるため、外国人生徒への国際教育も活発に行われており、児童生徒とその保護者への日本語指導を行う地域ボランティアなども存在する。</p> <p>[期待効果]</p> <p>神戸市は、平成 30 年では英語力が政令指定都市 20 都市中 19 位という順位であった。これは、さいたま市等の国際都市で活発に行われている、話すこと、書くことの表現力を評価するパフォーマンステストが神戸ではさほど重視されていない影響が大きいと思われる。こういった取り組みを強化することで、神戸市の英語力向上が見込まれると考える。</p>		